

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：東山地区	開催日時：令和6年5月9日（木）	18時00分 ～ 19時50分
担当班：第2班（出席議員）平田久美、高梨浩、原田俊広、長郷潤一郎、（議長）清川雅史 / （欠席議員）戸川稔朗		
開催場所：東公民館		
参加人数：男性 13名、女性 2名、合計 15名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について ・議会が開いた「財政セミナー」の結果について ・国から交付されるお金を国に戻すことについて ② 市政全般について（市のまちづくりに向けた課題） ・背炙山の風力発電施設の建設計画に反対する意見が多数出された一方で、地球環境を守る立場から考えると、再生可能エネルギーも大切なので両方考えていく必要があるとの意見も出された。 ・県立病院跡地の活用について、ふるさと納税やマイライドどこでもバスのことに対する質問や要望も出された。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 「東山地域の防災について」 ② テーマ設定の理由、背景 ・土砂災害警戒区域が多く、地域の中でも関心が高い問題になっているので地域テーマとして設定した。 ③ 主な地域課題 ・大雨時の土砂災害への対策として、東山地区に防災公園をつくって、防災倉庫を常備してほしいという要望や、年に1回ぐらい東山地区に来て防災についての学習会等を開催してほしいという要望も出されたほか、災害対策では自助共助も大事だが公助が最も大事という意見も出された。 また、各参加議員に対する「質問書」も出されたが、議会としてではなく各議員の個別対応にするようにした。		

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
議会が「財政セミナー」を開催したようだが、セミナーの結果、市の財政はどうだったのか。	かつては借金が増えて大変な時期もあったが、現在は公債費比率も下がり落ち着いてきているし、財政調整基金もだいたい基準通りの額が確保されている。	○	①		財政
歳出のなかで、間違った使われ方、無駄な支出があるのかどうかは予算を見せられただけでは市民はわからない。間違った使われ方をずっとしていれば予算は増えていかない。	予算を増やすということは、無駄な支出を無くすこととは違う。もちろん無駄な支出は無くす必要があるが、それだけで予算は増えない。何が無駄なのかという考え方もいろいろある。	○	①		財政
国からの地方交付税は、使って余ったお金を国に返しているという報告が昨年あったが、なぜ国に返さなければならないのか。国に返さないで市で子育てや福祉のために使うべきだ。	地方交付税は使って残った分を国に返すということはない。コロナの給付金など特定の事業費は、概算の金額で国から来るため、この場合は精算後の余剰金を国に返すことがルールとなっている。	○	①		財政
意見交換会を夜でなく、日中に開催してほしい。	ご意見として伺う。	●	②		意見交換会
背炙山の風力発電の計画について、テレビのニュースによると50基くらい建つらしいが、そうすると東山全体の保水能力とか、湯川の増水の心配もある。	前提として、市ではなく、あくまで県が窓口になって経済産業省の許認可となるもの。市の環境生活課に確認した話では、一度に50から60基建てるということではなく、これだけ建てたいという要望のある4社がそれぞれ計画を示しており、この合計が60基近くになるということ。 区域ごとに各社が計画しており、現在は、6基分の評価書の縦覧が済んでおり、あと数基の評価書が準備中と国から聞いている。 議会としても、市はもっと積極的に地域の方に説明すべきだと何度も言っているが、国と県の許可を得たことしか、市は市民に説明できないということが問題となっている。 しかし、市民の安全安心に深く関わることで、これまで議会として東山地区の役員の方々との意見交換なども行っているが、なお慎重な対応が必要と考えている。	○	②		環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
年々建てていけば50基から60基ぐらいになる計画なのではないか。自然災害になることはないということか？	そういう意味ではなくて、背炙山にずらっと50基から60基が建ち並ぶということになれば、我々も環境に影響が無いとは考えていない。	○	②	環境
ウインドファームという会社が風力発電を8基建っているが、議員は現場に行ったことがあるのか。風力発電が稼働していない状態でも、すごく嫌な音がする。背炙山は日本の森林浴の杜100選に選出されており、市民の憩いの場にもなっているが、あんな音がすれば嫌な思いになるし、疑問に思う。嫌な音が出るのはなぜなのか、業者に確認してほしい。あんな音が出ていて、環境に大きな影響があるのではないか。 東山は動物が住めない山になると思う。今でも、東山温泉に月2～3回もクマが出ている異常な事態。調べたら風力発電はおよそ17年～20年が寿命。現在の8基は2015年から稼働しており、あと10年ぐらいの寿命。それ以降どうするつもりなのかかわからないが、事故につながったら大変なので、調査していただきたい。	貴重なご意見として伺う。	○	②	環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
クリーンエナジー合同会社の6基の計画は最終段階であり、知事意見と環境大臣意見も業者にとっては厳しい意見になっていると思う。経済産業大臣の意見書も勧告という形で提出された。 東山は自然が豊かなところで、あるプロカメラマンが半年間毎日通って、絶滅危惧種のクマタカが20羽、10ツガイ住んでいることを撮影し確認している。それは会津若松市や東山の観光においても凄い武器になると思う。 それなのに、クリーンエナジー合同会社の環境アセスメントの説明会では3羽しかいないと言っており、正確な調査を行っていないのではないかと思います。だから経済産業大臣の勧告ではもう一度調べ直す必要があるという内容になっている。 それと、3度の市民に対する説明を行ったと説明しているが、私も説明会のことを知らなかったし、会社のHPを見ない限り説明会の開催が分からない状況だった。調べると、4段階あるうちの4段階目の最終段階になっている。 ただ救いだったのは、県知事と環境大臣の意見書は凄く厳しい内容となっており、経済産業大臣の勧告では市民に対する説明をしっかりと進めるべきだと言われていたので、市民に対する説明を再度行うべきだと、市議会からも業者へ働きかけていただけないかと思う。	大変貴重なご意見として伺う。	○	②	環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
背炙山には、これ以上風力発電所を作ってほしくない。計画に反対する。今ある生態系を保護することが大事だと思う。行政は国民の声を聞いていない。	おっしゃりたいことは十分わかった。貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
神明通りのことについて、議会の皆さんはどう思っているのか。	中心市街地として大事な場所なので、状況は注視しているが、空き店舗や撤退も多くて大変な状況であることは分かっている。産業経済委員会としては大切な課題と考えている。	○	②		中心市街地
神明通りには若い人たちが遊べるものを作ればいいと思っている。	貴重なご意見として伺う。	○	②		中心市街地
議員に質問書を出したので、よろしく願います。また、5月26日に東公民館で風力発電に関する学習会を行う予定で、議員の方にも案内状を出したのでご参集いただきたい。 また、風力発電所については計画をやめてほしいという要望書を市長、知事、環境省、経済産業省などに出したほか、林野庁にも出して、会津の事務所にも行って話をしたが、林野庁の方の話では、最終的には林野庁で決めるが、その時には地元の方々の話をよく聞いて決めると言っていた。だから議会の皆さんも関係ないとは言っていないと思うので、ぜひよろしくお願いしたい。	貴重なご意見として伺う。	○	②		環境
風力発電所については東山地区としても大きな関心事になっているが、同時に地球の温暖化についても大きな関心を持っている。二酸化炭素をどれだけ削減するかが大事になってきているし、会津若松市もゼロカーボン宣言し取り組んでいる。だから風力発電そのものがだめなのではなくて、自然環境を守ることと両方を考えていかなければならないと思う。	ありがとうございます。貴重なご意見として伺っておく。	○	②		環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ふるさと納税について、会津若松市はあまりぱっとしないと思うがどう考えているか。	今までは、市自らがふるさと納税の取組をしていたが、その一部を代行業者に委託したところ、今までとは大分変わり、寄附金額も増加している。その他にも、趣旨は違うが企業版ふるさと納税も顕著な伸びを示している。	○	②		税制
県立病院跡地には子育て関連施設ができると聞いている。少子化が進んでいるので、子育て関連施設ではなく、道の駅を作ってはどうかと思うが、今からでは遅いのだろうか。	現時点では、子育て支援機能を中心とした公共施設と民間の収益施設を作るという方向性は決まっているが、その収益施設に何を作るかについては、実施設設計及び建設、運営を総合的にコンサルタントする企業を募集している段階。 また、子育て関連施設というのは、子育てだけではなく、交流の場という観点もあるので、子育て世代だけではなく多世代が対象になっている。	○	②		中心市街地
通学の支援はどのくらい補助されるのか。	1か月で2万円を超える部分が補助になる。年間だと4割引になるので14万4,000円を超えた部分が補助される。	○	②		教育環境
タクシーしか利用できない方も増えている。今は、マイライドどこでもバスの試験運行もやっているということだが、その地域をもっと拡大していったらどうか。	当局に確認したが、マイライドどこでもバスの運行エリアを広げる場合は、タクシー業者との調整が必要だという話である。	○	②		公共交通

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地域の防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
東山地区のリスクを考え、地区と市が民間事業所などで相談し、独自の避難場所として7か所を候補に挙げて検討している。2年ぐらい前から相談しており、今年のうちには詰めていきたいと話をしている。若松ガス、医療生協、立正佼成会、ヨークベニマル花春店駐車場、カワチ駐車場などを検討しており、大変協力的な対応でありがたいが、それぞれ条件や事情はあると思う。	わかりました。貴重な情報として伺っておく。	○	①	
元旦の能登半島地震の件もあり、いつ起こるか分からない災害を心配している。慶山一丁目町内会では、来年度から防災学習会を始めるが、やはり各家庭で防災グッズを用意する必要があると思う。また、年に一回ぐらいは市の担当者に東山地区で防災の講習会や避難訓練をしてほしい。	大事なことだと思う。要望として伺っておく。	○	②	
自家用車がなかったり、体が不自由な方、高齢者などは第二中学校までは遠くて避難できないため、東山地区に防災公園を造ってほしい。そこに水や食料、テントなどを常備する防災倉庫も造ってはどうか。	防災公園には一定程度の面積が必要。例えば、東部公園を地区で防災のためにも使えるように改善してほしいなどの提案をしていただければ、当局は「公園のあり方」の見直しも行っているので、議会も一緒に要望していくことができると思う。	○	②	
私は目が全然見えない。今日の意見交換会は回覧板で情報があり、防災に興味があったので参加したが、行仁小学校は避難所としてどういう風になるのか。また、県立病院跡地は避難場所としては使えないのか。	県立病院跡地に何を造るかは、いま大枠では構想があり、県立病院跡地には防災倉庫も造るなど、防災の観点からも重要な施設になると思う。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地域の防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
ハザードマップでは指定避難所となっている第二中学校付近は、大雨が降ると50cmの冠水が起こる可能性が示されている。大丈夫なのか不安。	おっしゃる通り。大雨の場合、第二中学校付近は50cmの水が溢れる危険性がある。その場合は自動車での移動もできない。もっと身近なところに東山地区で独自に避難場所を検討しているのは、そういう点でも大事なことだと思う。	○	①	
	みなさんへの報告として、東山地区の防災のために、慶山地区から湯川に向けて雨水幹線を整備する計画がある。地下に雨水を湯川に強制的に流すために横3m縦1.5mの暗渠を造る計画となっており、近年のうちに実施される予定。	○	①	
県立病院跡地には防災倉庫も設置されることは分かったが、私は人間が入れるシェルターを造ってほしい。	貴重なご意見として伺っておく。	○	①	
風力発電施設の建設に限らず、山を拓いて道路などを整備する際は、最近の異常気象もあって、土砂災害にならないか本当に心配。そういった点を議員の皆さんはどう考えているのか。	おっしゃる通り。最近の異常気象では観測史上最高とか、数十年に一度の雨量などと言われているし、何が起きてもおかしくないを考える。だからこそ、山地の開発の際には住民の安全・安心を最優先にして取り組むべきだと考えている。	○	①	
	ハザードマップにある土砂災害警戒区域というのは、何年も前から指定されているわけではなくて、新たな気象条件などのもとで最近指定された部分も多くある。市民の皆さんからの情報提供によって調査し指定されたところもある。今後とも、そのような情報があれば市の危機管理課まで情報を寄せてほしい。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地域の防災について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
要望だが、災害が起きたときの市の対策本部について、連絡網を今から決めておいて、それを地区まで伝達して欲しい。災害時の情報についても迅速な伝達が大事だ。最も大事なことでないのでよろしくお願いしたい。	市としても、議会としても災害が起きた際には災害対策本部を立ち上げ、連絡体制も決まっている。正確な情報が迅速に伝わることは重要。これは、令和元年東日本台風の教訓にもなっているので、議会としてもよく注視していきたいと考えている。	○	①	
能登の災害を考えると地域の役割が大事だと改めて考えさせられたが、同時に台湾での大地震のときの避難所の様子を見ると、個人のプライベートまで考えられた対策がされており、公助の力がずいぶん違うと感じた。ボランティアや地域の力だけではどうにもならない問題も多い。やはり公助の力が大事だと思うので、そういうことを含めて議会としても防災を考えてほしい。	同感である。自助、共助、公助と言われており、もちろん自助も共助も重要だが、災害の際に決定的に重要なのは公助、公の役割だと考えている。それが災害対策基本法の立場だと考えている。	○	①	
避難の仕方は計画でも決まっているが、昼と夜、夏と冬では全然違う。最低でもこの4パターンは考えておかないと計画は「絵に描いた餅」になる。その辺まできめ細やかな計画を市民に提供すべきだと思っているので、要望しておく。	その通りで、以前に議会からも提起して夜の防災訓練を東山地区で実施していただいたことがあった。また季節でも大きく違うと考えている。議会からも当局へ申し入れを行っている。	○	①	
聞いた話では、FM波を使った防災無線があるみたいだが、どういうものなのか話を聞かせてほしい。	会津若松市ではFM波を使った防災無線の計画は議会としては聞いていない。消防等で使うFM波ではなく、集落にある防災無線拡声器等のあり方については、予算決算委員会で議論になったことはある。 (追記) FM放送による通信網を活用する費用として、令和6年度当初予算に計上されている。	○	①	